

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニチリョク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員 (氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,295	△11.2	△9	—	△96	—	△79	—
26年3月期第3四半期	2,584	9.5	175	—	75	—	11	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△6.38	—
26年3月期第3四半期	0.91	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
27年3月期第3四半期	11,219	—	3,629	—	32.3	—	290.37	—
26年3月期	11,102	—	3,800	—	34.2	—	304.09	—

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 3,629百万円 26年3月期 3,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	△10.8	220	△49.2	90	△70.3	45	△67.3	3.27

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	13,741,014 株	26年3月期	13,741,014 株
27年3月期3Q	1,242,584 株	26年3月期	1,242,584 株
27年3月期3Q	12,498,430 株	26年3月期3Q	12,498,595 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、「添付資料」P.3「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安に伴う株高等金融経済は堅調に推移し輸出関連を中心に企業収益は改善したものの、一方の実体経済は消費税率引き上げや物価上昇に伴う実質所得の低下等の要因により停滞しました。

当社が属する供養産業は、死亡者が増加傾向にあるにもかかわらず、霊園事業においては、埋葬の選択肢が多様化するに伴い比較的高価格となる屋外墓地の購入者は年々減少傾向にあります。この流れに対応すべく当社は、供養の全てを網羅し価格においてもご満足いただける室内事業へ比重の転換を図っております。

葬祭事業では、葬儀の小規模・地味化傾向が顕著となる中、インターネット媒体を中心に業者間の価格競争は激化し、顧客単価が一層下落するという厳しい環境下にあるものの、生花祭壇葬「愛彩花(あいさいか)」と共に、家族葬を中心としたラステル葬が消費者からの支持を受け、葬儀売上は順調に推移しております。

しかしながら、消費税率引き上げ後の個人消費の冷え込みや昨年における室内陵墓「覚王山陵苑」の完売が影響し、当社の売上は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高22億9千5百万円(前年同四半期比11.2%減)、営業損失9百万円(前年同四半期営業利益1億7千5百万円)、経常損失9千6百万円(前年同四半期経常利益7千5百万円)、四半期純損失7千9百万円(前年同四半期純利益1千1百万円)となりました。

## セグメントの状況

## 1. 霊園事業

屋外墓地につきましては、比較的高価格となる墓地墓石の買い控え並びに小規模区画傾向が続く環境下、一つのお墓に多数のお骨を収める共有墓や樹林墓の募集等を進めましたが、個人消費低迷の影響を受け、売上高は7億3千1百万円(前年同四半期比19.3%減)となりました。

## 2. 室内陵墓事業

第五号「両国陵苑(東京都墨田区)」は、顧客の価値観を超える重厚な施設と立地が好感を呼んでおり、計画通り順調な販売実績を上げております。しかしながら、昨年における覚王山陵苑完売の影響を受け、売上高は4億7千5百万円(前年同四半期比30.4%減)となりました。

## 3. 葬祭事業

葬儀の小規模傾向が一層顕著となり、施行単価は下落しております。当社は、従前より積極的に終活セミナーを開催していましたが、それに加え、新たに信託会社及び司法書士法人と提携し「心託(葬儀費用信託付き葬儀生前予約サービス)」を提供しております。

現在、会員制の生花祭壇葬「愛彩花」と共に、家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド、ご遺体安置施設「ラステル(ラストホテル)」を横浜市の西区、港北区にて運営しております。「小規模でありながらも心のこもった葬儀」を望む現代の顧客ニーズに順応しており、施行件数は順調に推移し、売上高は10億8千9百万円(前年同四半期比9.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、112億1千9百万円となり、前事業年度末に比べ1億1千7百万円増加しました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、3億8千6百万円減少し、38億5千8百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金4億円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、5億3百万円増加し、73億6千万円となりました。その主な要因は、壺園開発協力金6億円の増加、差入保証金1億1千5百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、1億5千4百万円増加し、35億5千2百万円となりました。その主な要因は、短期借入金2億6百万円の増加、未払法人税等7千2百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、1億3千4百万円増加し、40億3千7百万円となりました。その主な要因は、長期借入金2億6千6百万円の増加、社債1億4千6百万円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、1億7千1百万円減少し、36億2千9百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億7千3百万円の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点、平成26年11月6日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,138,355	2,737,587
完成工事未収入金	100,188	9,677
売掛金	166,921	138,754
永代使用权	371,520	326,805
未成工事支出金	300,702	312,016
原材料及び貯蔵品	81,713	144,362
その他	85,825	189,404
貸倒引当金	△17	△36
流動資産合計	4,245,210	3,858,571
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,093,703	1,045,316
土地	1,535,523	1,535,523
その他(純額)	30,994	23,652
有形固定資産合計	2,660,221	2,604,493
無形固定資産	126,185	179,539
投資その他の資産		
長期貸付金	172,094	168,278
差入保証金	1,204,038	1,088,040
霊園開発協力金	1,233,950	1,834,911
その他	1,495,238	1,519,246
貸倒引当金	△34,816	△33,811
投資その他の資産合計	4,070,506	4,576,665
固定資産合計	6,856,913	7,360,697
資産合計	11,102,123	11,219,269
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	102,191	89,358
短期借入金	359,282	565,720
1年内返済予定の長期借入金	1,797,323	1,787,902
1年内償還予定の社債	487,000	493,800
未払法人税等	72,435	—
賞与引当金	37,600	13,700
その他	542,596	602,309
流動負債合計	3,398,429	3,552,791
固定負債		
社債	1,003,000	856,800
長期借入金	2,447,730	2,714,424
退職給付引当金	260,351	274,952
役員退職慰労引当金	174,835	169,501
その他	17,185	21,568
固定負債合計	3,903,102	4,037,247
負債合計	7,301,532	7,590,038

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,743,535	1,570,017
自己株式	△227,529	△227,529
株主資本合計	3,780,931	3,607,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,986	41,010
繰延ヘッジ損益	△15,325	△19,192
評価・換算差額等合計	19,660	21,817
純資産合計	3,800,591	3,629,230
負債純資産合計	11,102,123	11,219,269

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,584,996	2,295,885
売上原価	805,922	773,981
売上総利益	1,779,073	1,521,904
販売費及び一般管理費	1,603,338	1,531,273
営業利益又は営業損失(△)	175,734	△9,369
営業外収益		
受取利息	3,254	3,216
受取配当金	12,844	12,844
その他	15,255	17,749
営業外収益合計	31,354	33,809
営業外費用		
支払利息	91,698	93,194
その他	39,944	27,444
営業外費用合計	131,642	120,638
経常利益又は経常損失(△)	75,446	△96,198
特別損失		
固定資産除却損	15,998	84
特別損失合計	15,998	84
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	59,447	△96,283
法人税、住民税及び事業税	27,710	6,586
法人税等調整額	20,378	△23,090
法人税等合計	48,088	△16,503
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,359	△79,779



（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。